

【様式1】調査票

平成●年度決算における収入未済額等について

名称			
所管局・所管課		担当者名：	内線：

I 収入未済額	人数	金額(円)	1人当たり最高額(円)	備考
1 回収努力を続ける債権				

2 回収見込みのない債権							
(1)平成●+1年度中に 条例に基づき放棄する 見込みのある債権		人数	金額(円)	1人当たり最高額(円)	放棄手続きの時期 (選択)	備考	
	放棄 の 要件	①破産法等の規定により債務につき免責を受けた場合(1号)					
		②私債権につき消滅時効期間が満了した場合(2号)					
		③徴収停止後、相当の期間経過後も債務者の状況が変わらない場合(3号)					
		④債務者が死亡し、限定承認があった場合(4号)					
		⑤債務者が無資力で、資力の回復が困難な場合(5号)					
(2)(1)以外で債権管理 条例に基づき放棄する 見込みのある債権		人数	金額(円)	1人当たり最高額(円)	放棄見込年度 (選択)	備考	
	放棄 の 要件	①破産法等の規定により債務につき免責を受けた場合(1号)					
		②私債権につき消滅時効期間が満了した場合(2号)					
		③徴収停止後、相当の期間経過後も債務者の状況が変わらない場合(3号)					
		④債務者が死亡し、限定承認があった場合(4号)					
		⑤債務者が無資力で、資力の回復が困難な場合(5号)					
	(平成●+1年中に放棄できない主な理由)						
(3)議決により放棄する 見込みの債権		人数	金額(円)	1人当たり最高額(円)	放棄手続きの時期 (選択)	備考	
	(議決による理由)						
(4)放棄するつもりのない 債権		人数	金額(円)	1人当たり最高額(円)	備考		
	(回収見込みがないにもかかわらず放棄しない理由)						
(5)その他・わからない もの等		人数	金額(円)	1人当たり最高額(円)	備考		
	(内容)						

合計(1+2)

0	0
---	---

## Ⅱ 不納欠損額

	人数	金額(円)	1人当たり最高額(円)	備考
◎これまで不納欠損した総額				

(1)平成●+1年度中に 条例に基づき放棄する 見込みのある債権			人数	金額(円)	1人当たり最高額(円)	放棄手続きの時期 (選択)	備考
	放棄 の 要件	①破産法等の規定により債務につき免責を受けた場合(1号)					
		②私債権につき消滅時効期間が満了した場合(2号)					
		③徴収停止後、相当の期間経過後も債務者の状況が変わらない場合(3号)					
		④債務者が死亡し、限定承認があった場合(4号)					
		⑤債務者が無資力で、資力の回復が困難な場合(5号)					

(2)(1)以外で債権管理 条例に基づき放棄する 見込みのある債権			人数	金額(円)	1人当たり最高額(円)	放棄見込年度 (選択)	備考
	放棄 の 要件	①破産法等の規定により債務につき免責を受けた場合(1号)					
		②私債権につき消滅時効期間が満了した場合(2号)					
		③徴収停止後、相当の期間経過後も債務者の状況が変わらない場合(3号)					
		④債務者が死亡し、限定承認があった場合(4号)					
		⑤債務者が無資力で、資力の回復が困難な場合(5号)					
	(平成●+1年中に放棄できない主な理由)						

(3)議決により放棄する 見込みの債権			人数	金額(円)	1人当たり最高額(円)	放棄手続きの時期 (選択)	備考
	(議決による理由)						

(4)放棄するつもりのない 債権			人数	金額(円)	1人当たり最高額(円)	備考
	(不納欠損しているにもかかわらず放棄しない理由)					

(5)その他・わからない もの等			人数	金額(円)	1人当たり最高額(円)	備考
	(内容)					

合計((1)+(2)+(3)+(4)+(5))

0

0